

令和2年度

(第28期)

事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日



公益財団法人とかち財団

令和2年度事業報告書 目次

1 概況	-----	1
2 トピックス ~商品開発・事業化支援成果の受賞等~	-----	2
3 ものづくり支援事業【公益目的事業1】		
(1) 試験研究	-----	4
(2) 技術支援		
①技術指導・企業相談	-----	10
②検査分析	-----	12
③技術講習・研修	-----	13
④情報発信・成果普及	-----	16
⑤外部資金を活用した技術支援	-----	18
(3) 施設の管理運営		
①北海道立十勝圏地域食品加工技術センター	-----	19
②十勝産業振興センター	-----	20
(4) 十勝ものづくり総合支援補助金 (十勝ビジネス支援プロジェクト2020)	-----	21
4 地域連携支援事業【公益目的事業2】		
(1) 企業相談	-----	23
(2) 開発商品等のPR及び販路拡大		
①展示会・商談会等への出展	-----	24
②十勝ブランドの推進	-----	25
(3) 地域連携の促進支援	-----	27
5 事業創発支援事業【公益目的事業3】		
(1) 人材育成(十勝ビジネス支援プロジェクト2020)		
①学生起業家支援	-----	28
②アーリーステージ事業者支援	-----	29
③十勝人チャレンジ支援	-----	31

(2) 事業化の加速支援	-----	3 3
(3) Webによる情報発信	-----	3 6
6 事業創発拠点の管理運営事業【その他の事業1】	-----	3 8
7 海外先進地視察事業【その他の事業2】	-----	3 9
8 収益事業	-----	4 0
9 主要事業に関連する事項		
(1) 観察・研修依頼への対応	-----	4 0
(2) 関係機関等が主催する会議等への参画・協力等	-----	4 1
(3) 新型コロナウイルス感染拡大防止の取組み・措置	-----	4 2
10 管理運営事項		
(1) 理事会	-----	4 3
(2) 評議員会	-----	4 4
(3) 資産運用委員会	-----	4 4
(4) 行政特別委員会	-----	4 4

1 概況

十勝地域においては、産学官金の緊密な連携により、基幹産業である農林漁業を核とする地方創生の推進に向けた積極的な取組みが進められている。このような背景の下、地域の産業活性化への貢献を目標に掲げている当財団は、十勝の未来につなぐ「価値」の創出と向上を図るため、平成29年度から5ヶ年で実施している「第2期産業活性化ビジョン」の取組みを着実に進め、その成果を一層広げていくことが求められている。

第2期産業活性化ビジョンの4年目となった令和2年度は、公益目的事業の「ものづくり支援事業」「地域連携支援事業」「事業創発支援事業」を軸に、その他の事業として前年度より開始した「事業創発拠点の管理運営事業」を複合し、効果的な事業推進を図った。一方で、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、国による緊急事態宣言の発出中は運営施設を臨時休館したほか、展示会への出展や海外先進地視察の実施を取り止める等、当初の予定どおりに実施できなかった事業もあった。

ものづくり支援事業では、食品分野の試験研究として、多様な食ニーズに対応する食品の開発や、十勝産エゾ鹿肉の加工品質に関する研究等に取り組み、新商品開発や地域資源の有効活用等を支援した。また、機械・電子分野の試験研究として、機械装置の遠隔診断装置の開発や、ISOBUS（農業機械用通信技術の国際標準規格）に対応した農業機械の開発等に取り組み、生産現場の課題解決に資する装置・機械開発を支援した。あわせて、両分野の技術支援として、技術指導・企業相談対応、検査分析・機器利用依頼の受入れ、技術講習・研修（オンラインを複合したセミナー等）の開催、情報発信・成果普及等に取り組んだ。さらに、「十勝ものづくり総合支援補助金」では、地域企業等が実施する新製品・新技術等の開発等の取組みに対し、事業費の一部を補助した。

地域連携支援事業では、経営課題等に関する企業相談対応のほか、十勝ブランド推進の一環として「十勝ブランド登録制度」を運営した。また、「FOODEX JAPAN」の出展取り止めに伴う代替企画として、関係機関との共催にて「とかち・食のビジネスマッチング」を実施した。

事業創発支援事業では、スタートアップ支援拠点「LAND」の管理運営を複合しながら、地域産業の担い手育成による創業・起業・事業創発の促進を目的として、人材育成のための奨学金・助成金等の給付事業を実施した。また、事業化の加速支援を図るために、地域の産業支援機関等と連携し、ビジネスプランの構築・強化や不足要素の補強支援等を実施するプログラム「トカチコネクション」を運営した。さらに、事業創発支援のさらなる促進を目指し、JAグループが設立したスタートアップ支援団体「一般社団法人AgVentureLab（アグベンチャーラボ）」との連携協定を締結した。

各事業に共通して、インターネット（ホームページ・オウンドメディア・SNS等）を活用した効果的・積極的・広範囲な情報発信を図った。その一環として、YouTubeチャンネル（LANDチャンネル）を新たに開設し、地域の経営者・事業者の取組み等に関する動画を配信した。

その他、収益事業として、企業等からの申込みによる受託事業を受け入れたほか、食品分野の技術ニーズに対応可能な評価事業（食品関連評価事業）を実施した。

以上の取組みを通じ、一体的な産業支援と地域連携の拡大・強化を推進し、「十勝における産業支援プラットフォーム」として、地域の産業活性化に貢献した。

2 トピックス～ビジネス支援成果の受賞等の実績～

表1（当財団の受賞実績）

内容
<p>第9回地域産業支援プログラム表彰（イノベーションネットアワード2020）</p> <p><主催者></p> <ul style="list-style-type: none">・一般財団法人日本立地センター、全国イノベーション推進機関ネットワーク <p><受賞名></p> <ul style="list-style-type: none">・農林水産大臣賞 <p><受賞プログラム></p> <ul style="list-style-type: none">・地域のものづくりを柱とする「とかち型ビジネス支援」プログラム <div style="text-align: center;"><p>ショパンネットアワード2020 表彰式 9月29日(火) 会場: TKP麹町ノ水カンファレンスセンター 人日本立地センター、全国イノベーション推進機関ネットワーク 農林水産省、経済産業省、科学技術振興機構、農業・食品産業技術総合研究機構、産業技術総合研究所 振興機構、中小企業基盤整備機構、日本商工会議所、日本経済新聞社、工業新聞社</p></div> <p>イノベーションネットアワード2020 表彰式 令和2年9月29日(火) 開催(東京都)</p>

表2（支援した事業者による開発関連製品の受賞実績）

内容
<p>令和2年度北海道新技術・新製品開発賞 (受賞決定: 令和2年10月)</p> <p><主催者></p> <ul style="list-style-type: none">・北海道 <p><受賞名></p> <ul style="list-style-type: none">・ものづくり部門 大賞 <p><受賞企業・製品></p> <ul style="list-style-type: none">・株式会社北土開発(芽室町)「定置型車両洗浄装置」 <p><支援事業></p> <ul style="list-style-type: none">・平成30～令和元年度 機械・電子分野の試験研究(共同研究) [経済産業省のサポイン事業補助金を活用して実施] <div style="text-align: center;"></div>

表3（開発関連製品による認証取得実績）

内容
宇宙航空研究開発機構（JAXA）による「宇宙日本食」の認証
<認証製品>
・「北海道産牛とミニトマトのハンバーグ」
<認証取得内容>
・北海道の企業の製品による認証取得は初
・2021年春の「星出宇宙飛行士 ISS（国際宇宙ステーション）長期滞在ミッション」に搭載されることが決定
<開発に携わった企業・関係機関等>
・有限会社十勝スロウフード（清水町）
・エア・ウォーター十勝食品株式会社（更別村）
・一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部 十勝農商工連携部会
・帶広地域雇用創出促進協議会
・北海道十勝総合振興局
・公益財団法人とかち財団
<備考>
・令和3年2月26日に記者会見を実施（場所：十勝産業振興センター）

北海道産牛とミニトマトのハンバーグ

記者会見

3 ものづくり支援事業 【公益目的事業1】

(1) 試験研究

食品分野及び機械・電子分野の技術的課題の解決や新製品開発等を促進するため、地域連携を図り、必要に応じて外部資金事業を活用する形で、地域ニーズに対応したテーマに関する実用的な研究開発を実施した。また、その成果を地域へ積極的に発信することで、成果の浸透・定着及び利活用促進を図り、企業等による新事業創出等を推進した。

これにより、地域のものづくり技術力を強化し、質の高い価値創出・向上の促進を図った。

<食品分野> (バイオ関連を一部含む)

表4 (共同研究等のテーマ一覧)

テーマ	
1	豆類の種類に応じた調理特性による加工品への応用（令和2年度） ・共同研究者：本別町農業協同組合 ・内容：豆類の特性を活かした商品開発を検討し、レトルト食品（パスタソース、炊き込みご飯の素）、ドレッシング、ピクルスの合計4点の製法について技術移転を行った。
2	おからを利用した味噌製造法の確立（令和2年度） ・連携先：有限会社中田食品（帯広市） ・内容：おからを主体とし、規格外豆腐（割れ、崩れ等）を副材料に用いることで、良好な食味の味噌試作品が完成した。風味を増すための発酵菌を検討中である。
3	十勝産エゾ鹿肉における加工品質に関する研究（令和2～3年度） ・内容：エゾシカモモ肉の成分分析を行い、同部位の牛、豚、鶏肉と比較して、脂質が少なく、鉄分や甘味を示すアミノ酸、コクに関わる味質が多いことがわかった。また、鹿肉製品3点の商品化支援を行った。   エゾ鹿肉の山幸ハンバーグ 鹿肉製品パッケージ 製造者：エゾの杜株式会社（池田町）

テーマ	
4	<p>多様な食ニーズに対応する食品の開発（令和2年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容：ベジタリアン対応だしつゆの商品化支援を行った。フリーズドライ納豆の製法を確立し、技術移転を行った。合計4点の商品化を行ったほか、品種別トマトでうまみ成分を引き出すドライトマトの製法を確立し、技術移転を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「香りつゆ」 彩まる合同会社（帯広市）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「ドライ納豆」 株式会社中田園（帯広市）</p> </div> </div>
5	<p>シーベリーの機能性評価および商品開発（令和2年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 共同研究者：士幌町、株式会社CheerS（士幌町） 内容：シーベリーの特産品開発を目的として、一次加工におけるフレーバー成分の挙動を解析し、素材の用途に有用な知見を得た。商品化に向けた試作検討を行い、評価データおよび配合の情報提供を行った。 <div style="text-align: center;">  <p>「ベリカラ」 株式会社CheerS（士幌）</p> </div>

表5（受託事業の内容一覧）

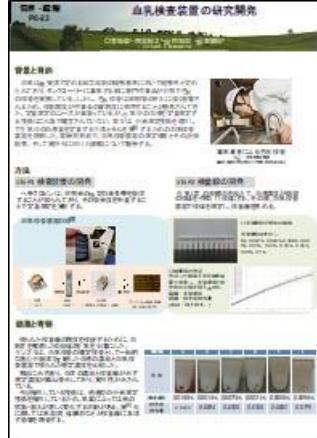
委託者		事業・業務名および内容
1	国立大学法人 東海国立大学機構 (名古屋大学)	<p>小豆紫色色素の定量法確立による、 品種格差と餡色発色の機構解明を目指す開発試験（令和元～3年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容：小豆紫色の色調が活かされるような製餡条件の検討 等

表6（活用した補助金の一覧）

補助事業者	事業名・テーマ名
経済産業省 (北海道経済産業局)	<p>戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業） 「医薬品・再生医療向け細胞培養用新規原料 『ウシ加工処理血清』の安定製造技術開発」 (平成30～令和2年度) (共同体構成者：株式会社ジャパン・バイオメディカル、 有限会社ジャパン・ラム、兵庫医科大学)</p>

<機械・電子分野>

表 7 (共同研究等のテーマ一覧)

テーマ	
1	<p>血乳検査装置の事業化（平成 30 年度～）</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力機関：酪農学園大学 内容：昨年度に引き続き、道東地区を中心に乳質による検量線への影響を評価する一方で、集乳業者による実証試験に向け、農業団体等の協力を得ながら実施計画を策定している。また、血乳検査装置に関心がある乳業メーカーへのデモや、公益社団法人日本畜産学会での発表を通じて、血乳検査装置の公知性を高める活動を実施した。 <p style="text-align: center;">右図：(公財) 日本畜産学会 第 128 回大会 ポスター発表内容</p> 
2	<p>ISOBUS 対応 ECU と作業機の開発（令和元年度～3 年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力企業：十勝農機株式会社（芽室町） 内容：ISOBUS 対応作業機に搭載する電子制御装置 (ECU) 用の組込みソフトウェアの試作開発を実施した。また、組み込みソフトウェアの開発手法を農業機械メーカーに技術移転するための研修会をオンラインで開催した。さらに、市販のボートプランターを ISOBUS 対応するための電動化・電子制御化技術を開発した。令和 3 年度に ISOBUS 対応ボートプランターの試作開発を完了する予定である。  <p>ISOBUS 技術研修会：オンライン開催</p>  <p>試作開発中の ISOBUS 対応作業機</p>

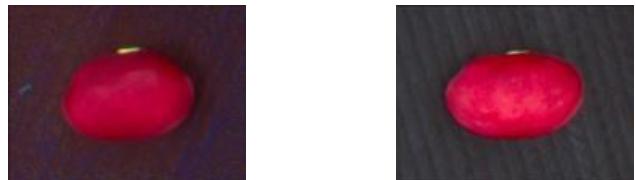
テーマ	
3	<p>機械装置の遠隔診断装置の開発（令和元年度～3 年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力企業：株式会社安西製作所北海道支店（芽室町） ・内容：遠方に設置された装置の稼働状況や異常の有無をクラウドにアップし、携帯端末から確認できる仕組みを提供することで、装置の可搬性の向上やメンテナンスコスト低減を目指す。今年度は、装置メンテナンス情報の仕様を精査し、クラウドシステムに接続するための実証用プラットフォームを制作した。令和3 年度は、本プラットフォームに実装するためのプログラムの開発や、携帯端末側のアプリケーションを開発し、遠隔診断装置としての総合的な評価を実施する予定である。  <p>遠隔診断装置 実証用プラットフォーム</p>
4	<p>インゲンマメゾウムシ光学選別装置の製品化（令和2 年度～）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同研究者：株式会社安西製作所北海道支店（芽室町） ・内容：インゲンマメゾウムシの食入の疑いがある被害粒の除去を目的とした光学選別装置の製品化に取り組んだ。今年度は、光学系機構の設計ならびに画像処理アルゴリズムの開発を推進し、製品化への道筋が立った。令和3 年度は、毎時1 トン以上の処理能力の確保に向けて開発を進め、製品の販売開始を目指す。  <p>光学選別装置で撮影した被害粒（左：成虫、右：幼虫）</p>
5	<p>豆類品質・品位評価判定の省力化（令和2 年度～）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同研究者：帶広市川西農業協同組合（帶広市） ・内容：各農協で行われている農産物検査法を想定した品質・品位の評価の自動化を検討している。今年度は従来の画像処理手法に加えて、微妙な形質の違いを識別するために人工知能ベースの評価方法を組み合わせたアルゴリズム開発に着手した。なお、本研究テーマが（公財）日本豆類協会の豆類振興事業助成金（令和3～5 年度）に採択されたことから、今後3ヶ年で豆類検査手法の確立と製品化を目指す。  <p>従来の画像処理技術では判定が難しい形質の例 整粒（左）と色流れ（右）</p>

表8（受託事業の内容一覧）

委託者		事業・業務名および内容
1	公益財団法人 北海道科学技術 総合振興センター (ノーステック財団)	<p>食関連産業省力化促進事業（北海道補助） 「I S O B U S 対応の農作業機に係る民間企業等との共同研究・開発及び成果の普及・技術者の育成」（令和元～3年度）</p> <p><委託者を代表機関とする協議体により実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容[当財団の分担業務] : ① I S O B U S 対応 E C U の開発 ② 電動化技術・電子制御化技術の開発 ③ I S O B U S 対応作業機の開発
2	国立研究開発法人 農業・食品産業 技術総合研究機構 (農研機構)	<p>農業機械技術クラスターの研究開発プロジェクト 「I S O B U S に対応した作業機 E C U 開発」（令和元～3年度）</p> <p><農研機構北海道農業研究センターを代表機関とする コンソーシアムにより実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容[当財団の分担業務] : A E F 基準に則った I S O B U S 通信テストの実施
3	国立研究開発法人 農業・食品産業 技術総合研究機構 (農研機構)	<p>スマート農業技術の開発・実証プロジェクト 「肥育牛の動産担保（ABL）等の導入促進に資する生体センシング等の IoT を活用した低コスト個体モニタリングの実証に係る試験研究」 （令和2年度～3年度）</p> <p><株式会社ファームノートを代表機関とする コンソーシアムにより実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容[当財団の分担業務] : ① センシングデバイスを用いた肥育牛生体モニタリング実証 ② R F I D タグを用いた肥育牛在籍モニタリング実証 ③ 肥育牛特化型デバイスの検討 ④ 実証管理運営機関業務

表9（I S O B U S 普及推進会の運営支援）

区分	内容
目的等	十勝の主要産業の一翼を担う農業機械産業を中心に、I S O B U S に対応した農業機械の普及を促進するために設立された産学官連携体「I S O B U S 普及推進会」について、試験研究の一環として、当財団が事務局を担う形でその運営を支援している。
設立年月日	平成30年8月9日
事業期間	毎年8月1日から7月31日まで
構成メンバー	<p>役員（3名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長：長澤 秀行（当財団理事長） ・最高顧問：野口 伸（北海道大学 農学研究院 副研究員長・教授） ・監事：山田 政功（十勝農業機械協議会 会長） <p>支援機関（6機関）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学ならびに関係機関

構成メンバー (続き)	<p>アドバイザー（7名） • 会長が支援機関等から指名した適任者</p> <p>後援団体（7機関） • 行政機関ならびに関連団体</p> <p>会員（合計42名・事業所） • 十勝および道内に拠点を有する作業機メーカーなど</p> <p>【会員の内訳】</p> <table border="0"> <tbody> <tr> <td>プレミアム会員</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>正会員</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>賛助会員（法人・団体）</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>賛助会員（個人）</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	プレミアム会員	12	正会員	26	賛助会員（法人・団体）	3	賛助会員（個人）	1
プレミアム会員	12								
正会員	26								
賛助会員（法人・団体）	3								
賛助会員（個人）	1								
主な活動実績	<p>令和2年5月1日 作業機メーカー等10社と「ISOBUS開発実証プロジェクトへの参画に関する協定書」を締結し、ISOBUS開発実証プロジェクトを開始</p> <p>【十勝地域からの参画事業者】（令和3年度末時点） 東洋農機株式会社（帯広市） 十勝農機株式会社（芽室町） ノブタ農機株式会社（帯広市）</p> <p>令和2年6月7日 推進会ホームページを開設（一部コンテンツは会員限定）</p>  <p>令和2年6月23日～26日、7月16日～17日 ISOBUS技術研修会（通算第3回・オンライン開催）</p> <p>令和2年8月7日 令和2年度総会（書面開催）</p> <p>令和2年9月14日～16日 ISOBUS技術研修会（通算第4回・オンライン開催）</p> <p>令和3年3月2日 要請活動（農林水産省生産局 技術普及課・オンライン要請）</p>								

(2) 技術支援

①技術指導・企業相談

企業等による技術的課題の解決や新製品開発等の促進を図るため、研究員が技術相談に対応するとともに、必要に応じて研究員を生産現場等に派遣し、直接的な指導及び助言を実施した。

これにより、地域ニーズ・企業ニーズを的確に把握し、研究開発・技術支援の効果的な展開を図るとともに、利用企業や関係機関等との連携を強化した。

表 10（技術相談件数）[現地技術指導を含む]

年度	相談件数	相談内訳	
		食品	機械・電子
R2	1,062	739	323
R1	982	628	354
H30	956	624	332

表 11（市町村別相談件数）

帶広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
418	20	20	17	8	40	32	157	16	11
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以外
11	7	30	21	5	29	16	15	6	183

表 12（市町村別相談事業者数）

帶広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
140	10	8	9	4	10	10	28	5	5
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以外
6	4	13	8	3	10	10	3	3	77

表 13 (技術指導を行った地域活性化プロジェクト)

プロジェクトの内容	
株式会社明治とフードバレーとかち推進協議会の包括連携協定に基づく 「十勝ヨーグルトプロジェクト」への技術支援 (平成 30 年度~)	
【目的】 十勝の乳の価値向上による産業振興・地域活性化	<開発製品の例>
【内容】 株式会社明治が発見した十勝産生乳由来の新乳酸菌「十勝ミルク乳酸菌 TM96」を使用したヨーグルト製品の開発	
【主な支援】 製品開発に向けたプロジェクト参画事業者への技術指導	
【参画事業者】 十勝地域の乳製品製造企業等 6 社	【有限会社十勝ミルキー】 ジャージーヨーグルト

表 14 (ものづくりワンストップ相談会の開催実績)

開催日	相談対応職員	共催
R2. 9. 29 R2. 12. 4	四宮 紀之	帯広信用金庫・帯広畜産大学・とかち財団

表 15 (講師・アドバイザー派遣実績)

<食品分野>

区分	派遣日	事業・セミナー	派遣地	派遣職員
講師派遣	R2. 6. 1	北海道立農業大学校 奮産經營学科講義 「農畜産加工起業概論」	本別町	水谷香子
講師派遣	R2. 6. 3	北海道立農業大学校 畑作園芸經營学科講義 「農畜産加工起業概論」	本別町	水谷香子
アドバイザー派遣	R2. 11. 13 R2. 11. 18 R3. 3. 17	(一社) アニマルウェルフェア奮産協会 アニマルウェルフェア奮産認証農場の審査	地域内 対象者	葛西大介

②検査分析

企業等の生産・製造活動の側面的支援を図るため、企業等からの依頼により、原材料・試作品・製品の品質評価等に係る試験・検査及び分析、成績書の発行を実施した。

これにより、企業等の課題解決に向けた取組みを促進し、ものづくり技術力の強化を図った。

<食品分野>（食品の成分分析や理化学測定、微生物検査）

表 16（検査分析件数）

年度	検査分析件数	内訳		
		依頼試験	依頼分析	賛本発行
R2	65	27	37	1
R1	49	25	24	0
H30	45	24	21	0

※主な依頼試験項目：一般生菌数、大腸菌群、耐熱性菌数、真菌数

※主な依頼分析項目：灰分、水分、タンパク質、脂質、無機質、食物繊維、糖類 等

<機械・電子分野>（鉄筋やコンクリートの強度試験、パークゴルフ用具等の検定試験）

表 17（検査分析件数）

年度	検査分析件数	内訳		
		引張強度試験	圧縮試験	パークゴルフ用具等
R2	340	131	0	209
R1	315	179	8	128
H30	365	205	11	149

③技術講習・研修

ものづくりに関する技術者の育成を図るため、基礎・応用技術や商品開発等の知識習得を目的とした、専門的かつ実践的な技術者養成セミナー・講習会・研究会を実施するとともに、研究員による直接的な指導により技術習得を促進するため、企業等の技術者を研修生として受け入れた。

これにより、十勝の産業を支える技術者の実践的な人材育成を図った。

<食品分野>

[1] 微生物検査に関する実技講習会

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、食品の品質・衛生管理に必要な微生物検査技術の習得を目的とした、少數限定の実技講習会を開催した。(会場：食品加工技術センター)

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、前年度より定員数を減らして開催した。

表 18 (講習会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R2. 9. 29 R2. 10. 1	「実践、微生物検査の基礎」(初級編：一般生菌数、大腸菌群) [A 日程] 講師：ものづくり支援部 食品加工技術センターグループ 研究主査 水谷 香子	4
R2. 9. 30 R2. 10. 2	「実践、微生物検査の基礎」(初級編：一般生菌数、大腸菌群) [B 日程] 講師：同上	3
R2. 10. 6 R2. 10. 8	「実践、微生物検査の基礎」(中級編：黄色ブドウ球菌、サルモネラ) 講師：同上	3

[2] 十勝圏ナチュラルチーズ品質管理研究会

十勝地域のナチュラルチーズ業界における品質管理体制の強化を図るため、チーズ製造及び品質管理に関する知識の習得をはじめ、情報等の共有や意見交換を目的とする研究会を開催した。(会場：食品加工技術センター)

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンラインにより開催した。

表 19 (研究会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	出席者数
R2. 11. 19	第 37 回研究会 「チーズと包装技術の関わり」 講師：H I R O 包装設計事務所 所長 佐々木 敬卓 氏	12

開催日	テーマ・実施内容等	出席者数
R3. 3. 23	第38回研究会 「H A C C P義務化目前、これだけは準備しておきたい資料の紹介」 「チーズの研究してみませんか？」 講師：ものづくり支援部 食品加工技術センターグループ 課長 川原 美香	12

[3] 官能評価に関する基礎講習会

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、食品を取り扱うにあたって重要な指標となる官能評価の基礎的手法の習得を目的とした、少数限定の実技講習会を開催した。(会場：食品加工技術センター)

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、前年度より定員数を減らして開催した。

表20(講習会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R3. 3. 5	「官能評価基礎講習会～ゼロから始める官能評価～」(第1回) 講師：ものづくり支援部 食品加工技術センターグループ 研究員 高谷 政宏	5
R3. 3. 12	「官能評価基礎講習会～ゼロから始める官能評価～」(第2回) 講師：同上	4
R3. 3. 19	「官能評価基礎講習会～ゼロから始める官能評価～」(第3回) 講師：同上	4

[4] 食品衛生・品質管理に関するセミナー

十勝地域の関係機関からの事業協力依頼を受け、食品衛生・品質管理に関するセミナーを開催した。(開催地：上士幌町)

表21(講習会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R2. 10. 12	上士幌町ふるさと納税返礼品事業者向け食品衛生・品質管理のためのセミナー「食品衛生について」 講師：ものづくり支援部 食品加工技術センターグループ 研究員 四宮 紀之	10
R3. 2. 18	上士幌町ふるさと納税返礼品事業者向け食品衛生・品質管理のためのセミナー「H A C C Pの素朴な疑問」 講師：同上	10

[5] 技術研修生の受け入れ

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、企業等からの技術研修生の受け入れ等に取り組み、食品加工技術者の技術習得を促進した。

表 22 (研修生受け入れ実績)

受入期間	研修内容	受入人数
R2. 6. 23、R2. 6. 25	微生物検査技術の習得（一般生菌数、大腸菌群等）	2
R2. 7. 13、R2. 7. 15	微生物検査技術の習得（一般生菌数、大腸菌群等）	6
R3. 3. 17、R3. 3. 19	微生物検査技術の習得（一般生菌数、大腸菌群等）	2

<機械・電子分野>

[1] 3次元CAD講習会

地域のものづくり産業の技術力向上・人材育成を支援し、機械製品開発ツールの利活用促進等を図るため、3次元CAD及び3Dプリンタの操作技術の習得を目的とした、少數限定の実技講習会を開催した。（会場：十勝産業振興センター）

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、前年度より定員数を減らして開催するほか、オンラインによる同時配信を行った。

表 23 (講習会開催実績)

開催期間	テーマ等	受講者数
R2. 11. 19～R3. 3. 4 (全13回、毎週木曜開催)	「3次元CAD講習会 導入編 ～SolidWorks2010と3Dプリンタを使ってみよう～」 講師：ものづくり支援部 十勝産業振興センターグループ 研究員 西條 大輔	3
R3. 3. 9～R3. 3. 30 (全4回、毎週火曜開催)	「3次元CAD講習会 Fusion360導入編」 講師：同上 (※オンラインによる同時配信あり)	3 (うち会場2)

[2] オンデマンド型技術セミナー

地域のものづくり産業の技術力向上・人材育成を支援するため、2次元CADやマイクロの操作技術の習得を目的とした、企業ニーズに特化した内容で開催するオンデマンド型の実技講習会を開催した。（会場：十勝産業振興センター）

表 24 (セミナー開催実績)

開催期間	テーマ等	受講者数
R2. 4. 16 R2. 4. 17	「J w_CADによる2次元設計」 講師：ものづくり支援部 十勝産業振興センターグループ 研究員 西條 大輔	1

④情報発信・成果普及

ものづくりに関する有用な技術情報を発信するとともに、成果発表会や技術研究会の開催等により、試験研究・技術支援成果の普及に努めた。

これにより、事業成果等を広範囲に拡大させ、より一層の利活用を促進することで、財團事業への認知度・理解度の向上を図った。

<食品分野>

表 25 (成果発表会の開催実績)

開催日	開催方法	開催内容	聴講者数
R3. 2. 5	オンラインによる配信	<p>「食加技 P R E S E N T A T I O N D A Y」 【食品分野の試験研究・技術支援に係る成果発表等】 <取り組み紹介></p> <ul style="list-style-type: none"> ① とかち財團を活用しよう (助成事業等のご案内) ② 山幸酵母による製パン法の開発 ③ 山ワサビを活用した商品開発 ④ ルチン含量に着目した蕎麦・蕎麦の葉加工品の製法検討 ⑤ シーベリーに含有される成分の特性解明及び商品開発 <p>オンライン配信の状況</p>	36

表 26 (十勝圏地域食品加工技術者の会 開催実績)

開催日	開催内容	開催地	参加者数
R2. 10. 26 R2. 12. 22 R3. 2. 8～9	相互研修 (会員施設往来し、実習・意見交換を実施) - 幕別町：豆腐加工実習、おからを利用した利用方法の検討 - 本別町：豆腐加工実習 - 帯広市：微生物検査・水分活性測定実習等	幕別町 本別町 帯広市	4
R3. 3. 31	上士幌町食品加工センターの見学等	上士幌町	7

表 27 (関係機関等主催事業等での発表・PR実績)

開催日	開催方法	事業・会議等の名称及びPR内容	発表者等
R3. 3. 13	オンラインによる発表	公益社団法人日本食品科学工学会 令和3年度北海道支部大会 一般講演発表 ・発表テーマ 「スクロース非発酵性『山幸』ブドウ由来酵母 <i>Hanseniaspora vineae</i> とスクロース発酵性酵母を 組み合わせた製パン法」 (帯広畜産大学との共同発表)	高谷 政宏

<機械・電子分野>

表 28 (関係機関等主催事業等での発表・PR実績)

開催日	事業・会議等の名称及びPR内容	開催地	発表者等
R2. 11. 6	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター 「スマート食産業推進セミナー」 ・発表テーマ 食関連産業省力化推進事業プロジェクトの紹介 「農作業機の国際化～ISOBUS 対応農作業機の開発～」	札幌市	松原 慎吾

表 29 (ホームページの公開・運営状況)

区分	公開内容
成果品 PR のための 技術開発・製品開発 内容詳解サイト	 <p>十勝産業振興センターでは、農業生産や食品加工を省力化・自動化するための技術開発や製品開発を行っています。</p> <p>十勝産業振興センターでは、農業生産や食品加工を省力化・自動化するための技術開発や製品開発を行っています。人口減少や高齢化を克服し、持続可能な生産環境を構築するための、電子制御・センシング・クラウドコンピューティング等の要素技術を融合したオートメーションシステムを開発しています。</p> <p>https://www.tokachi-foundation.com</p> <p><令和元年10月より公開：英語・中国語のページも同時公開></p>

<共通>

表 30 (ホームページの公開・運営状況)

区分	公開内容
とかち財団 ホームページ	 <p>http://www.tokachi-zaidan.jp/index.php</p> <p>食品加工技術センター・十勝産業振興センターの施設概要紹介 業務内容、研究成果、設備機器一覧、各種書式のダウンロード等</p>

⑤外部資金を活用した技術支援

北海道の「先端技術の導入支援等による地域生産性向上事業」補助金を活用し、製造業への先端技術（IoT等）の導入・応用を図るための製品開発・技術支援により、地域企業の生産性向上に取り組んだ。

表 31 (活用した補助事業)

補助元	事業名
北海道	<p>「先端技術の導入支援等による地域生産性向上事業」</p> <p>内容：①省力化・自動化に関する企業等のニーズ把握 ②IoT システムを適用した試作機開発による企業等への技術支援</p> <p>期間：令和元～3 年度</p>

(3) 施設の管理運営

ものづくりに関する試験研究・技術支援を効果的に実施するため、技術支援施設（北海道立十勝圏地域食品加工技術センター、十勝産業振興センター）の保守管理、設備・機器の利用提供等を実施した。

これにより、施設の基本機能を十分に発揮し、利用者サービスの向上を図った。

①北海道立十勝圏地域食品加工技術センター（指定管理業務）

表 32（施設利用件数）

年度	利用件数	内訳	
		機器等	研修室
R2	249	248	1
R1	271	266	5
H30	317	314	3

表 33（施設利用時間）

年度	利用時間	内訳	
		機器等	研修室
R2	877	873	4
R1	1,678	1,648	30
H30	2,095	2,083	12

※食品加工技術センターの大規模改修工事について

北海道立十勝圏地域食品加工技術センターは築 25 年以上が経過し、屋内外の経年劣化が進んでいることから、以下の期間・内容にて大規模改修工事を実施した。

- ・工事期間：令和 2 年 7 月から令和 3 年 3 月まで
- ・主な工事内容：屋上防水改修、屋内設備改修（空調・ボイラー・冷凍冷蔵設備等）
- ・工事費：北海道が全額負担

工事期間中も施設は原則として開館したが、利用提供している館内の試験機器や加工機器類、及び研修室は工事の状況により使用できない場合があった。

②十勝産業振興センター（財団所有施設）

表 34（設備機器利用件数等）

年度	利用件数	利用時間
R2	77	3,279
R1	170	744
H30	138	498

表 35（十勝地域機械製品開発ツール普及促進事業）

年度	利用件数	備考
R2	11	委託者：帯広市
R1	4	内容：3Dプリンタ・CAEツール等の利活用促進・保守管理等
H30	12	

表 36（会議室利用件数）

年度	利用件数	内訳	
		大会議室	中会議室
R2	225	129	96
R1	352	184	168
H30	416	215	201

表 37（会議室利用人数）

年度	利用人数	内訳	
		大会議室	中会議室
R2	6,554	4,772	1,782
R1	18,022	11,739	6,283
H30	18,768	12,541	6,227

※共同研究室について

一般社団法人とかち地域活性化支援機構等の入居に伴い、共同研究室の一般への利用提供は平成 29 年 7 月 1 日より当面の間休止としている。

(4) 十勝ものづくり総合支援補助金（十勝ビジネス支援プロジェクト2020）

十勝地域の中小事業者等が実施する新製品・新技術等の開発や、その成果普及・販売促進等の取組みに対し、事業費の一部を補助した。

これにより、地域の中小事業者等による新たなものづくりの先導的な取組みや、新しい産業の創造を促進した。

表38（十勝ものづくり総合支援補助金 募集・採択経過）

区分	内容
対象者	主たる事業所が十勝地域にある中小企業者（農林漁業者を含む）、または中小企業者で構成された団体・グループ（その他の要件あり）
対象事業等	A 新製品・新技術・新サービス開発 補助率：2分の1以内／限度額：200万円 B 販路開拓（国内外） 補助率：2分の1以内／限度額：200万円 C 重点事業（上記A・Bのうち、地域への波及効果等が期待できる事業） 補助率：3分の2以内／限度額：400万円
募集期間	令和2年4月1日～4月30日
応募数	6件
選考過程	選考委員会による選考（委員総数5名、うち外部委員3名） ・書類選考：令和2年5月1日～14日 ・プレゼンテーション選考：令和2年5月25日（月） (オンラインを複合して開催)
採択者説明会	令和2年6月10日（水）実施



採択者・採択事業のプレス発表 令和2年6月10日（水）実施
(採択者説明会と同時に実施)

表39（十勝ものづくり総合支援補助金 採択者[4事業者]）

事業者名	事業内容	補助金額
株式会社 アサヒ金物 (帯広市)	[重点：新製品開発] 地域板金業を守るために新部材・新工法の開発 	3,200,000円
株式会社 エイムカンパニー (帯広市)	[重点：新サービス開発] タクシー会社と連携した飲食店宅配サービスの開発 	3,200,000円
株式会社 北土開発 (芽室町)	[重点：新製品開発] 画像処理技術を活用したポータブル車両洗浄装置の開発 	3,195,200円
北野牧場 (足寄町)	[新製品開発] 足寄チーズ街道への呼び水となる農家製チーズ開発 	540,000円

4 地域連携支援事業 【公益目的事業2】

(1) 企業相談

企業等が抱える経営課題の解決や、創業・起業・事業創発の促進を図るため、商工団体・産業支援団体・金融機関等の関係機関と連携・協力し、産業支援の経験が豊富な職員が経営・事業創発・知的財産等に関する相談に対応した。

これにより、地域ニーズ・企業ニーズを的確に把握し、事業化支援の効果的な展開を図るとともに、利用企業や関係機関等との連携を強化した。

表 40（企業相談件数）[技術関係の相談件数と一部重複]

年度	相談件数	相談内訳							
		起業 創業	人材 育成	商品 開発	広報 拡販	資金 獲得	知的 財産 (※)	地域 連携	その 他
R2	247	40	4	44	14	34	16	65	30
R1	208	34	0	38	16	36	16	36	32
H30	171	11	4	27	15	12	22	59	21

※知的財産に関する相談について

一般社団法人北海道発明協会（札幌市）が運営する「INPIT 北海道知財総合支援窓口」の帯広サテライトが十勝産業振興センターに設置されており、テレビ会議システムを通じて同協会の担当者に直接相談することができる。

表 41（市町村別相談件数）

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
136	7	2	5	1	7	5	10	4	0
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以外
3	6	6	1	0	2	3	1	6	42

表 42（市町村別相談事業者数）

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
84	5	1	2	1	4	4	9	2	0
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以外
3	2	5	1	0	2	3	1	3	36

(2) 開発商品等のPRおよび販路拡大

①展示会・商談会等への出展

試験研究・技術支援成果の利活用等により実用化された地域発の商品・技術等をPRし、その販路拡大を支援するため、首都圏等で開催される展示会・商談会等に出展する計画ではあったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催中止または出展取り止めとなった。

一方で、FOODEX JAPANへの出展取り止めを受け、地域の関係機関との共催により、販路拡大支援に係る代替事業を実施した。

表43（開催中止または出展取り止めとなった展示会・商談会等）

区分	展示会の名称・開催地	期間
開催中止	FOOMA JAPAN 2020（大阪府）	R2.6.23～R2.6.26
出展取り止め	FOODEX JAPAN 2021（千葉県）	R3.3.9～R3.3.12

表44（FOODEX JAPANの出展取り止めに係る代替企画の開催）

開催日	開催内容
R3.3.11	<p>「とかち・食のビジネスマッチング 2021」</p> <p>主催：公益財団法人とかち財団、帯広信用金庫、北海道十勝総合振興局</p> <p>後援：帯広市、帯広商工会議所</p> <p>会場：インザスイート（帯広市）</p> <p>内容：リアルとオンラインを併用した事前マッチング個別商談会</p> <p>参加企業：25社（FOODEX JAPAN出展予定者ほか）</p> <p>招聘バイヤー：5社</p>  <p>とかち・食のビジネスマッチング 2021 実施状況</p>

②十勝ブランドの推進

特徴ある十勝産加工食品の品質・付加価値を客観的に評価し、その認知度を高めることにより、地域の個性や魅力を象徴する「十勝ブランド」を守り育て、地域産業の活性化に繋げるため、「十勝ブランド登録制度」を実施した。

これにより、さらに質の高い「価値」となり得る十勝ブランドの推進を図るとともに、登録品の効果的なPRや事業者間の連携を促進した。

表 45（十勝ブランド登録制度の概要）

区分	内容
対象	十勝産加工食品
登録基準	<ul style="list-style-type: none"> (1) 十勝産原料を51%以上使用した食品であること (2) 次のいずれかを満たしていること <ul style="list-style-type: none"> I. 十勝地域で製造されている II. 十勝の事業者が製造主体である (3) 適正な営業・製造許可を受け、法令を遵守していること
付加価値基準	<p>商品の魅力や付加価値を『バリュー』として認定し、それを★の数で表示 (1個～最大5個)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 登録基準 (★1個) <ul style="list-style-type: none"> I. 登録基準をクリア =★1個 (2) コアバリュー (最大★2個) <ul style="list-style-type: none"> I. 十勝産原料比率が80%以上の商品（産地証明の提出が必要）=★1個 II. 唯一無二である または、十勝ならではの価値や特徴がある =★1個 (3) プラスバリュー (最大★2個) コアバリュー以外の魅力・付加価値がある (最大★2個) 【例】受賞経験、第三者認証、オーガニック原料、トクホなど
登録方法	登録を希望する事業者が任意で申請し、審査委員会による審査を経て登録
審査	有識者による「十勝ブランド登録審査委員会」が基準に基づいて審査し、全員一致で認められたバリューだけが認定される
登録料	無料（ただし、任意参加のPR事業は参加負担金あり）
登録期間	無期限（ただし、定期の内容確認あり）
登録マーク	 

表 46（十勝ブランド登録状況）

[令和3年3月末日現在]

事業者数	登録品数	主な種類
39	137	チーズ、乳製品、パン、スイーツ、飲料・酒類、農産加工品、畜産加工品、調味料

表 47 (十勝ブランド 主な活動状況)

開催日・期間	内容														
R2. 6. 24 ～R2. 7. 15	十勝ブランド登録審査委員会の開催（第1回：書面による）														
R2. 7. 17～	十勝ブランドパンフレットの作成・配布														
R2. 7. 23 ～R2. 10. 4	<p>十勝ブランドスタンプラリーの開催（26店舗）</p> <p>【応募総数】 333名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>マイスター</th> <th>博士</th> <th>マニア</th> <th>入門</th> <th>ラッキー</th> <th>予科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募数</td> <td>127</td> <td>25</td> <td>50</td> <td>47</td> <td>53</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table>	コース	マイスター	博士	マニア	入門	ラッキー	予科	応募数	127	25	50	47	53	31
コース	マイスター	博士	マニア	入門	ラッキー	予科									
応募数	127	25	50	47	53	31									
R2. 9. 19 ～R2. 10. 31	「とかちマルシェ」への参加（9店舗）														
R2. 10. 16	十勝ブランド登録審査委員会の開催（第2回）														
R2. 12. 17	関係機関に対するチーズ幹旋販売（7工房）														
R2. 12. 28 ～R3. 1. 7	<p>「十勝ブランドお年玉商品券プレゼント」企画の実施</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年度は「十勝ブランドグランプリ」の実施を取り止め、その代替企画を実施した。</p> <p>(登録 23 店舗で使用できる商品券 2,000 円分を先着 500 名に提供)</p>														

表 48（ホームページの公開・運営状況）

区分	公開内容
十勝ブランド登録制度ホームページ	 <p>https://www.tokachi-brand.jp</p>

（3）地域連携の促進支援

事業創発・「売れる」ものづくり・販路拡大等に有効な地域連携・人的ネットワーク構築の促進を図るため、意見交換や情報共有による相互理解、必要な知識の習得、共通課題の検討、販売・マーケティング力の向上等を目的とした「交流の機会づくり」に取り組んだ。また、関係機関等の主催する会議等へ積極的に参画・協力した。

この他、十勝産業振興センターの1階を「コワーキングサロン」として開放し、フリーWi-Fiサービスを提供するなど、ビジネス利用の交流拠点化を図った。

これにより、十勝の「稼ぐ力」を創り出すためのプラットフォームの構築・形成を促進した。

表 49（産学官金連携交流会の共催）

開催日	開催場所	開催内容等	参加人数
R2. 12. 17	帯広畜産大学 (オンラインを複合)	帯広畜産大学「産学官金連携交流会」の共催 ・第1部：大学施設の見学 ・第2部：講演会	合計 137 名 会場：67 オンライン：70

5 事業創発支援事業 【公益目的事業3】

(1) 人材育成（十勝ビジネス支援プロジェクト2020）

①学生起業家支援

事業創発人材の持続的な育成を図るため、将来、十勝地域で創業・起業・事業創発を志す学生等に対し、奨学金を給付した。

これにより、創業等を目指す学生層の拡大を図り、起業家精神を持つ意欲的な人材の輩出を促進した。

表 50（令和2年度学生起業家支援奨学金 募集・採択経過）

区分	内容
募集概要	対象者：十勝地域の経済社会の発展に寄与することを目的とし、将来事業を起こすことを目標としている大学生等 給付額：36万円
募集期間	令和2年3月9日～令和2年4月24日
応募数	13件
選考過程	選考委員会による選考（外部委員3名） ・書類選考：令和2年4月28日～5月22日 ・プレゼンテーション選考：令和2年6月7日（日） (オンラインを複合して開催)
採択者説明会	令和2年6月27日（土）開催
ビジネスプラン報告会	令和3年3月6日（土）開催

表 51（令和2年度学生起業家支援奨学金 採択者[5名]）

氏名	所属・学年	ビジネスプラン名
米田 英里奈	帯広畜産大学 畜産学部	農村ホームステイ卒業生と十勝を結ぶ「架け橋」事業
大内 魁人	帯広畜産大学 畜産学部	十勝の食材を使ったペットのお土産という新たな産業の展開事業
森山 さら	帯広畜産大学 畜産学部	十勝産じやがいもの食育教育への展開と消費拡大のためのPR事業
久保田 和基	北海道大学 獣医学部	地元とともに食について知ってもらうワークショップと「食育塾」から地域活性化へ
中田 恵	慶應義塾大学 法学部	ふるさと納税制度を活用した地域商社事業



採択者のプレス発表 令和2年6月27日（土）実施
(採択者説明会と同時に実施)

②アーリーステージ事業者支援

事業化のスタートを支援するため、十勝地域で創業・新規事業を開始してから5年以内の事業者に対し、支援金を助成した。

これにより、アーリーステージ（成長初期段階）にある有望な事業者が実施する新事業の展開を促進した。

表52（令和2年度アーリーステージ事業者支援助成金 募集・採択経過）

区分	内容
募集概要	対象者：十勝地域に主たる事業所があり、応募時点で事業開始後1年以上5年以内の事業者で、事業のステップアップを目指す者 助成金限度額：1社300万円まで（助成率10/10以内）
募集期間	令和2年3月9日～4月22日
応募数	7件
選考過程	選考委員会による選考（外部委員4名） ・書類選考：令和2年4月28日～5月26日 ・プレゼンテーション選考：令和2年6月18日（木） (オンラインを複合して開催)
採択者説明会	令和2年6月30日（火）開催

表 53 (令和 2 年度アーリーステージ事業者支援助成金 採択者[2 事業者])

事業者名	事業内容	助成金額
株式会社 at LOCAL (士幌町)	しほろ町のヒトとコトを結ぶ“しほろ町らしさを見える化”商品開発プロジェクト	2,397,188 円
晴 cafe 合同会社 (帯広市)	十勝産原料を使った、糖質量を抑えたロングライフ商品の開発・販売	1,867,505 円



採択者・採択事業のプレス発表 令和 2 年 6 月 30 日 (火) 実施
(採択者説明会と同時に実施)

表 54 (令和元年度アーリーステージ事業者支援助成金採択者報告会の実施)

実施方法	公開時期	報告内容・報告者
YouTube による 報告動画公開 (LAND チャンネル)	令和 2 年 12 月	「ひとのつながりで個々の健康意識を增幅させる 次世代型ヘルスケアコミュニティの創出」 一般社団法人ちくだい KIP (帯広市)
		「ハマナスコスメ「rosa rugosa」の定期購入モデル導入事業」 株式会社 ciokay (浦幌町)
		「新型タイニーハウス製作」 株式会社 KOYA. lab (本別町)

③十勝人チャレンジ支援

事業者等による新事業創発を支援するため、十勝地域のチャレンジ意欲の高い産業人材に対し、調査研究や概念実証[P O C]に要する経費を補助した。

これにより、事業創発に必要な技術導入や課題解決を促進し、地域の産業の発展に寄与できる積極的な人材を育成した。

表 55（令和 2 年度十勝人チャレンジ支援事業補助金 募集・採択経過）

区分	内容
募集概要	対象：十勝地域に居住しており、十勝で事業に取り組む個人 十勝地域に商業登記の住所を有する法人 補助額：上限 100 万円 [補助率 10/10 以内]
募集期間	令和 2 年 3 月 9 日～4 月 20 日
応募数	7 件
選考過程	選考委員会による選考（外部委員 3 名） ・書類選考：令和 2 年 4 月 28 日～5 月 22 日 ・プレゼンテーション選考：令和 2 年 6 月 19 日（金） (オンラインを複合して開催)
採択者説明会	令和 2 年 7 月 2 日（木）開催

表 56（令和 2 年度十勝人チャレンジ支援事業補助金 採択者[3 件]）

事業者名／氏名	テーマ	補助金額
日向 優（陸別町）	地域の薬用植物・ハーブ類等の機能性素材を活用した 6 次産業化事業	625,754 円
オトデザイン 江波戸 智美（帯広市）	十勝からお届けするナチュラルな洋服ブランド D2C 化計画事業	1,000,000 円
有限会社足寄ひだまりファーム 沼田 正俊（足寄町）	ASHORO HARD CIDER PROJECT ～リンゴの产地化・全国へ届ける Hard Cider～	788,589 円



採択者・採択事業のプレス発表 令和2年7月2日（木）実施
 （採択者説明会と同時に実施）

表 57（令和元年度十勝人チャレンジ支援事業採択者報告会の実施）

実施方法	公開時期	報告内容・報告者
YouTubeによる報告動画公開 (LANDチャンネル)	令和2年 12月	「世界でトップのジェラート技術を十勝へ移植」 有限会社ハッピネスデーリィ（池田町）
		「キャンプとアグリツーリズムを融合し、 十勝の自然と食を掛け合わせた観光素材の造成」 株式会社 AOIRO（中札内村）
		「狩猟と宿泊施設を活用した、オリジナリティあふれた 観光業、宿泊業の確立」 GuestHouse ぎまんち（足寄町）
		「南十勝における水牛酪農をテーマにした観光振興」 田畠 正仁（帯広市）

(2) 事業化の加速支援

十勝地域における創業・起業・事業創発を具体的に支援するため、地域の産業支援機関等と連携し、ビジネスプランの構築・強化や不足要素の補強支援等を実施するプログラム「トカチコネクション」を運営した。

これにより、地域で創出された「事業の種」を育成し、支援対象者の事業拡大・加速化を図った。

表 58 (トカチコネクション 事業概要)

事業概要
【連携機関】 帯広市・北洋銀行・北海道銀行・帯広信用金庫・帯広商工会議所・一般社団法人とかち地域活性化支援機構（とかち機構）
【主な支援プログラム】
①ハンズオン支援 <対象事業者：2社> ・地域への経済波及効果の高い事業構想と事業成長への意志を持ち、ビジネスモデル構築・強化のための支援を必要としている事業者を選定し、企業経営者等の外部のアドバイザーを交えて、事業構想の具現化を重点的に支援した。
②事業拡大・加速化支援 <対象事業者：6社> ・スタートアップ支援スペース「LAND」を通じた日常的な事業相談対応・事業支援をベースに、地域内で新事業や事業の拡大成長を図る事業者に対し、課題や要望に応じて支援した。
③支援ネットワーク拡充 ・事業支援の対応力を高め、事業成長を加速化させることを目的に、地域内外を問わず、事業者の拡大成長に必要な専門的知見やネットワークを持つ企業・団体・起業家・経営者・士業等のネットワークを拡充した。
④事業創発関連の情報発信 ・事業活動に結び付けることを目的とし、事業関連情報を対外的に発信した。 (十勝地域全体が創業・起業・事業創発に積極的であることを伝え、地域外からの事業者を呼び込む契機とする)

表 59 (ちくだいスタートアップ体験プログラムの共催)

事業概要
【連携機関】 国立大学法人帯広畜産大学、帯広市、地域事業者等
【主な実施内容】
・帯広畜産大学の学生を対象に、地域事業者による講義やフィールドワーク、ビジネスプランの作成等を実施した。 令和2年8月8日：オープンスクール 令和2年10月8日～令和3年1月23日：講義等（全7回） ・令和3年2月27日（土）には、参加学生によるビジネスプランコンテストを開催した。



ちくだいスタートアップ体験プログラム 実施状況

表 60 「十勝ドリームマップ会議 2020」実施実績)

区分	内容
主催	十勝ドリームマップ会議実行委員会 (帯広市、フードバレーとかち推進協議会、当財団)
開催日	令和 2 年 10 月 7 日 (木)
会場	スノーピーク十勝ポロシリキャンプフィールド (帯広市)
内容	「アート×起業家～異才の触発～」 ・十勝のアーティスト・起業家によるプレゼンテーション (19 組 20 名) ・トークセッション



「十勝ドリームマップ会議 2020」実施状況

表 61 (一般社団法人 AgVentureLab との連携による支援体制の強化)

連携内容
<p>【一般社団法人 AgVentureLab について】</p> <p>JA グループ全国 8 団体が、オープン・イノベーションを促進させ、「農業」と「食」と「地域の暮らし」に関わりのある社会課題の解決を目的として、2019 年に設立した組織 (ホームページ https://agventurelab.or.jp/)</p> <p>【連携協定の締結】</p> <p>「食」「農」「地域」の発展に向け、次世代に繋がるイノベーションの創出を目指し、以下の 3 点に関する連携協定を締結した。(令和 3 年 2 月 12 日 (金) にオンラインで開催)</p> <ul style="list-style-type: none">① 起業家人材の育成に関すること (事業者の販路拡大、アントレプレナーシップ醸成)② 地方と首都圏の人材交流に関すること (イベント等による起業家人材の交流等)③ 拠点の相互活用に関すること (東京[AgVentureLab]と帯広[LAND]の拠点間利用) <p>【記念イベントの開催】</p> <p>連携協定の締結を記念し、締結式に引き続き、記念イベントを以下のとおり開催した。</p> <p>「～十勝から全国へ～ とかち発スタートアップ Event」</p> <ul style="list-style-type: none">・開催日：令和 3 年 2 月 12 日 (金)・開催方法：オンライン (YouTubeLive) による生配信・開催内容：①十勝地域の事業者によるスタートアップピッチ<ul style="list-style-type: none">[登壇企業] 株式会社エアシェア、株式会社 VETELL (いずれも帯広市)②トークセッション (登壇企業、AgVentureLab、当財団)



連携協定締結式（オンラインにより開催）

【写真左：一般社団法人 AgVenture Lab 代表理事 萩野 浩輝 氏】

(3) Webによる情報発信

創業・起業・事業創発に関する支援制度や、十勝地域の起業家による取組みなどを広く周知・普及するため、Webを活用して積極的に情報発信した。

表62 (LAND チャンネルの開設・運営)

区分	公開内容
YouTubeによる動画配信	<p>【LAND チャンネル】 地域の新たな事業創発への熱量を維持することを目指し、地域の経営者・事業者の生の声やメッセージ（現状をどう捉え、何を想い、次に向けてどう進んでいくのか）を配信する YouTube チャンネルを令和2年6月に開設した。 令和3年3月末日までに34件の動画を公開し、3件のライブ配信を行った。</p>  <p>https://www.youtube.com/channel/UCv6Z_a1RT_dpWStlghqq-A</p>

表63（Webマガジン・SNSによる情報発信）

区分	公開内容
Webマガジン 「十勝Z団」	 <p>http://www.tokachi-zaidan.jp/tkzd.php</p>
とかち財団 公式facebook	<p>https://www.facebook.com/TokachiZaidan/</p>
とかち財団 公式YouTube	<p>https://www.youtube.com/channel/UCg5QPc2lcjBJIU5FzVrAw7Q</p>
その他	<p>「学生起業家支援奨学金」公式Twitter https://twitter.com/ShogakukinKigyo</p> <p>「学生起業家支援奨学金」公式facebook https://www.facebook.com/Tokachi.Kigyo.Shogakukin</p> <p>「十勝人チャレンジ支援事業」公式facebook https://www.facebook.com/tokachi.challenge</p> <p>「アーリーステージ事業者支援」公式facebook https://www.facebook.com/early.tokachi</p>

6 事業創発拠点の管理運営事業 【その他の事業1】

地域における創業・起業・事業創発を促進するため、事業創発等を目指す若者や起業家、及びこれらの取組みに関心を示す事業者や関係機関等が集い、新たなチャレンジに向けた構想や戦略を練るために拠点として、スタートアップ支援スペース「LAND」の管理運営を行った。



表 64 (利用者数・プロジェクト登録件数)

年度	合計	内訳					プロジェクト登録件数 ^(※)
		仕事	相談	打合せ	イベント	その他	
R2	3,065	920	69	1,143	458	475	18
R1	3,909	880	83	934	1,580	432	-

※会議室等の専有使用に際し、当財団の支援対象となる事業を有しているかを事前に確認するため、令和2年度より使用者（プロジェクト）登録制度を導入した。

表 65 (開設1周年記念イベント[一般公開]の開催)

開催日	主な実施内容	来場者数
R2.8.7 ～R2.8.8	・館内展示「LANDとは？とかち財団とは？」 ・ちくだいスタートアップ体験プログラムのオープンスクールの開催 (主催：帯広畜産大学) ・カフェ出店者「GreenFive Coffee」による「美味しいアイスコーヒーの淹れ方講座」等	106



開設1周年記念イベント 開催状況

表 66 (ホームページ・SNSによる情報発信)

区分	内容
ホームページ	 <p>https://www.land.or.jp</p>
facebook	https://www.facebook.com/LAND.tokachi/
Twitter	https://twitter.com/LandTokachi
Instagram	https://www.instagram.com/land.tokachi/

7 海外先進地視察事業 【その他の事業2】

事業創発や技術力高度化等に関する先進的な知見を得ることにより、地域の課題解決や新たな事業展開等を促進するため、地域の事業者や関係機関等とともに海外の先進地を視察しようとするものであるが、新型コロナウイルスの影響により海外への渡航が極めて難しい状況等を踏まえ、今年度の実施を取り止めることとした。次年度は当該事業の今後の方向性を検討する。

8 収益事業

事業者等からの申込みによる受託事業を受け入れ、地域ニーズを幅広く反映させた技術力高度化等を図った。

また、食品分野の技術ニーズに対応可能な評価事業（食品関連評価事業）を実施した。

表 67（主な受託事業一覧）

内容	
1	機能性素材の活用方法の検討に関するコンサルティング業務 (委託者：帝人株式会社)
2	食品加工機械の新型機種の機構設計 (委託者：株式会社フクザワ・オーダー農機 [茅室町])
3	農業機械用電子制御装置の試作開発 (委託者：株式会社フクザワ・オーダー農機 [茅室町])
4	画像処理技術の実用化 (委託者：十勝地域の装置製造企業)

表 68（食品関連評価事業）

コース名	受入件数
賞味期限設定のための支援コース	1 件
味覚センサーを用いた味質評価コース	8 件

9 主要事業に関連する事項

視察・研修依頼への対応、関係機関との連携・協力を以下のとおり実施した。

また、当財団が運営する3施設において、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組み・措置を以下のとおり実施した。

（1） 視察・研修依頼への対応

表 69（主な視察・研修対応内容）

対応日	方法	団体名等	内容
R1. 7. 4	視察受入	帯広大谷高校	地域を学ぶオンライン×リアル学習サイト「locus」 高校生向けフィールドスタディ ①ものづくりを柱とするビジネス支援 ②新たなビジネスの創発を目指すスタートアップ支援
R3. 1. 14	動画配信	JICA研修員	とかち財団の取組みについて
R3. 1. 26	オンライン講義	JICA研修員	とかち財団の取組みについて

(2) 関係機関等が主催する会議等への参画・協力等

表 70 (道内の関係機関が主催する会議等への主な参画・協力実績)

主催機関・事務局等	会議等の名称	備考
フードバレーとかち推進協議会（帯広市）	フードバレーとかち推進協議会	
帯広市	フードバレーとかち人材育成事業 運営委員会	
帯広市	帯広市産業振興会議	オブザーバー
帯広市	とかち観光誘致空港利用推進協議会	副会長
帯広市	十勝バイオガス関連事業推進協議会	幹事
帯広市	とかち高等教育推進まちづくり会議	部会長
帯広市、(一社)とかち地域活性化支援機構	帯広地域雇用創出促進協議会	監事
帯広商工会議所	とかちマルシェ推進協議会	幹事
帯広商工会議所	とかち創業支援ネットワーク会議	
帯広商工会議所等	とかち商工産業振興会議（とかちづくり会議）	
帯広信用金庫	とかち・イノベーション・プログラム	
帯広畜産大学	スクラム十勝	
帯広畜産大学	帯広畜産大学地域連携フェロー	フェロー委嘱 4名
帯広畜産大学	人体及びヒト試料研究倫理審査委員会	委員
芽室町	芽室町農業振興計画策定会議 新戦略部会	部会員
十勝農業機械化懇話会	十勝農業機械化懇話会	
経済産業省北海道経済産業局	北海道地域産業技術連携推進会議	
北海道	北海道科学技術審議会「地域懇談会」	
北海道	ものづくり技術支援ネットワーク会議	
北海道	十勝地域中小企業支援ネットワーク	
(地独) 北海道立総合研究機構	北のものづくりネットワーク会議	
(公財) 北海道科学技術総合振興センター	北海道技術振興連絡協議会	
(公財) 北海道科学技術総合振興センター	チャレンジフィールド北海道（产学融合拠点創出事業）	

(3) 新型コロナウイルス感染拡大防止の取組み・措置

表 71 (取組み・措置の開始から令和 2 年度末までの状況)

年度	開始日・期間	施設	内容
令和元年度	R2. 2. 26 ～R2. 3. 31	LAND	道による緊急事態宣言に伴い、臨時休館
	R2. 2. 27 ～継続中	十勝産業 振興センター	道による緊急事態宣言に伴い、会議室使用料金の取り扱いに係る特別措置を開始 (感染拡大防止の観点から、現在も継続中) ・ 使用承認を受けた事業者等が感染拡大予防対策として使用を取り止めた場合は、事前に納入された使用料金の全額を返還する(通常、承認後の取り止めに係る使用料金の返還は行わない)
	R2. 3. 5 ～R2. 3. 31	十勝産業 振興センター	感染拡大の状況を踏まえ、大会議室・中会議室の新規使用予約受付の一時停止措置等を実施
令和2年度	R2. 4. 1 ～R2. 4. 18	LAND	道による緊急事態宣言の解除に伴い、使用を一部再開 (感染拡大防止対策の徹底を使用条件とする)
		十勝産業 振興センター 食品加工 技術センター	道による緊急事態宣言の解除に伴い、会議室新規使用予約受付を再開 (感染拡大防止対策の徹底を使用条件とする)
	R2. 4. 20 ～R2. 5. 25	全施設	国による緊急事態宣言に伴い、全施設を臨時休館 ・ 技術相談・企業相談対応は随時実施 ・ 職員の一部はシフト制による在宅勤務・時差出勤を実施(継続中)
	R2. 5. 26	全施設	国による緊急事態宣言の解除に伴い、全施設の使用を再開 ・ 但し、5月末日までは使用対象者を十勝地域在住者に制限 ・ 振興センター大会議室・中会議室及び食加技センター研修室は、3密回避・ソーシャルディスタンス確保のため、使用定員を制限(継続中)
	R2. 6. 3 ～継続中	全施設	「新北海道スタイル」安心宣言の掲出開始  いまは、 きよりをとって  咳エチケット  手を洗おう

10 管理運営事項

(1) 理事会

①第1回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和2年6月4日（木）
審議事項	1. 令和元年度事業報告・決算の承認について 2. 理事就任候補者について 3. 評議員会の開催について

上記審議事項について決議された。

②第2回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和2年7月1日（水）
審議事項	1. 専務理事1名選定について 2. 業務執行理事1名選定について

上記審議事項について決議された。

③第3回

開催日	令和2年10月23日（金）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	9名（理事8名、監事1名）
報告事項	1. 令和2年度事業経過報告（第1回）について

上記報告事項について了承された。

④第4回

開催日	令和3年3月9日（火）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	8名（理事6名、監事2名）
報告事項	1. 令和2年度事業経過報告（第2回）について 2. 規則の一部改正について（理事長専決による改正報告）
審議事項	1. 令和3年度事業計画及び収支予算について 2. 規則の一部改正について 3. 理事、監事、評議員選考委員会の委員予定者について 4. 評議員会の開催について

上記審議事項等について了承・決議された。

⑤第5回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和3年3月19日（金）
審議事項	1. 株主議決権の行使について

上記審議事項について決議された。

⑥第6回（定款第34条に基づくみなしだり議）

決議があつたものとみなされた日	令和3年3月31日（水）
審議事項	1. 事務局長の任免について 2. 理事辞任に係る後任理事の取り扱いについて 3. 理事、監事、評議員選考委員会の委員予定者の変更について

上記審議事項について決議された。

（2）評議員会

①第1回（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条に基づくみなしだり議）

決議があつたものとみなされた日	令和2年4月10日（金）
審議事項	1. 理事の選任について

上記審議事項について決議された。

②第2回（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条に基づくみなしだり議）

決議があつたものとみなされた日	令和2年6月11日（木）
審議事項	1. 令和元年度事業報告・決算の承認について 2. 理事の選任について

上記審議事項について決議された。

（3）資産運用委員会（書面開催）

委員構成	理事・評議員のうち理事長が指名する3名
決議があつたものとみなされた日	令和2年7月16日（木）
報告事項	1. 資産運用の状況について
協議事項	1. 今後の資産運用について

上記事項に関する報告・協議を行い、その内容について了承された。

（4）行政特別委員会（書面開催）

委員構成	十勝地域19市町村の行政機関担当者等
決議があつたものとみなされた日	令和3年2月12日（金）
報告事項	1. 令和2年度事業経過報告について
協議事項	1. 令和3年度事業計画（案）について 2. 基本財産の状況及び令和3年度運営負担金について 3. 設置要綱の一部改正について

上記事項に関する報告・協議を行い、その内容について了承された。

以上